

## 第10回大学博物館等協議会総会議事要旨

日 時：平成19年6月8日（金）16:00～17:00

場 所：九州大学五十周年記念講堂4階大会議室

出席者：北海道大学総合博物館，北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園，岩手大学ミュージアム，東北大学総合学術博物館，秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館，宇都宮大学資料博物館設立準備委員会，東京大学総合研究博物館，東京芸術大学大学美術館，新潟大学旭町学術資料展示館，金沢大学資料館，静岡大学キャンパスミュージアム運営委員会，名古屋大学博物館，京都大学総合博物館，大阪大学総合学術博物館，島根大学ミュージアム，広島大学総合博物館，広島大学医学部医学資料館，山口大学大学情報機構埋蔵文化財資料館，香川大学博物館，九州大学総合研究博物館，宮崎大学農学部附属農業博物館，鹿児島大学総合研究博物館，琉球大学資料館，国立科学博物館，国立民族学博物館文化資源研究センター

### 1. 2006年度決算及び2007年度予算案について

2006年度決算について，協議会事務局から配付資料を基に説明があり，引き続き，監査から，決算書については適正に処理されているとの報告があった。審議の結果，原案どおり承認された。

2007年度予算案について，協議会事務局から配付資料を基に説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

### 2. 次期役員について

協議会長から，先に開催の館長会議において，会長，副会長，監査の任期が満了となることから，会長に東北大学総合学術博物館長（永廣昌之氏），副会長に九州大学総合研究博物館長（多田内修氏），監査に東京大学総合研究博物館長（林良博氏）を選出したことの報告を受け，審議の結果，3氏を役員とすることが満場一致で承認された。

なお，任期は2年で，平成21年度協議会までになるとの説明があった。

東北大学総合学術博物館長（永廣昌之氏）より，次期役員を代表して挨拶があった。

### 3. 次期協議会開催校について

協議会長から，先に開催の館長会議において，大阪大学を次期開催校とする旨の承認を得られたことの報告があり，審議の結果，大阪大学を次期開催校とすることが満場一致で承認された。

次期開催校の大阪大学総合学術博物館長から，会場は豊中キャンパスを予定しており，開催時期については，来年6月5～6日か6月12～13日の何れかを予定しているとの説明があった。

### 4. 協議会会則及び申し合わせ事項の一部改正について

協議会長から、前回開催の協議会において、協議会会則の一部改正を行うことになっており、改正原案を会長校（北大）で作成、昨年11月開催の館長会議において一度審議し、配付資料にあるとおりの改正案を作成した。また、最終的に本総会の承認を得て決定することになっていたことの説明があった。引き続き、協議会事務局から、改正案について、改正の趣旨、改正内容について配付資料を基に説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

## 5. 館長会議の報告

(1) 2006年度決算及び2007年度予算案について

(2) 次期役員について

(3) 次期協議会開催校について

(4) 博物館をめぐる最近の動きについて

学術会議の下に置かれている自然史分科会から、博物館法改正にかかる中間報告が近日中に出される動きがあり、資料が入手されたら直ちに協議会長に送付し、各館に配付して意見を聴取することになった。内容如何によっては本協議会として声明を出すこともあり得る。

(5) 博物科学会設立検討WGにおいて検討した、博物科学会の骨子案が中間報告として示され、今後、これらを基に会則案を作成し、メールで各館等の意見を伺いながら、12月までに原案を作成し、次回の協議会において決定する運びである。

## 6. 実務者会議の報告

(1) 2006年度合同企画展と今後の共同企画

2006年度開催の合同企画展の総括を行った。

今後の共同企画展の開催についても合意が得られ、テーマ、規模等について、時間的制約上十分審議することができなかったことから、会長校、副会長校でWGを編成し、たたき台を作成して、各館の意見を伺いながらまとめていくこととした。

(2) 大学博物館におけるボランティア制度の導入にあたって、その取組み事例が紹介され、準備すべきことと等について意見交換を行った。

(3) 博物館教育について、組織的な取組み例が紹介され意見交換を行った。

(4) 博物科学会会則案については、館長会議の報告と同じである。

## 7. その他

科学研究費補助金で、「博物館学」が時限付き（19年度～20年度）分野として応募できるとの情報提供があった。また、このような情報があれば、会員に流してほしいとの要望があった。

※（掲載）平成19年度科学研究費補助金公募要領（基盤研究，萌芽研究，若手研究（A・B））

<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>